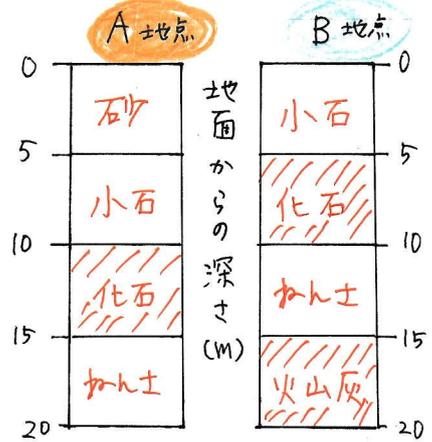
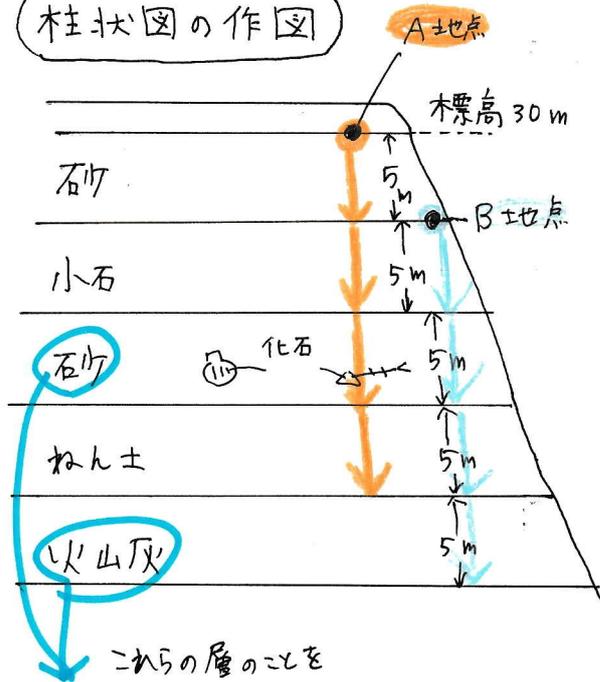


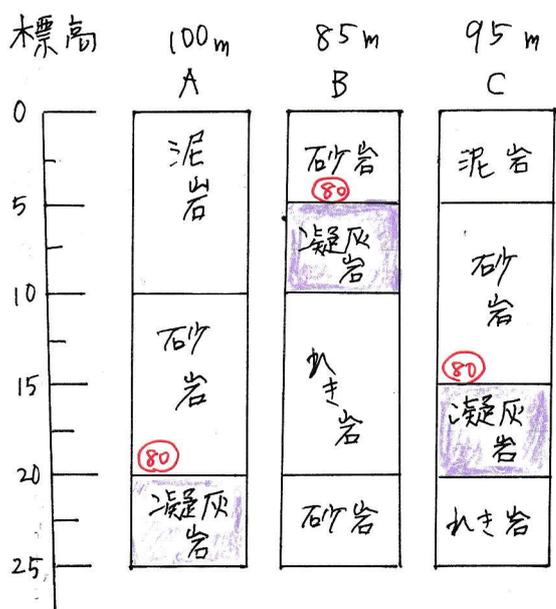
A地点とB地点、それぞれ20m掘った。

柱状図の作図



AとBの2つの地点から20mだけボーリング調査した結果、こうなった。柱状図を見ただけで、A地点のねん土層の下には火山灰の層があることが言える。

これらの層のことを(かぎ層)という。(手がかりをとくカギとなる層だから)



標高の異なる3つの地点でのボーリングの結果です。

具体的に、どの層が一番古いのか、どの層が一番新しいのか、石を調べよう。

一番大事なのは、凝灰岩がどこにあるか
かぎ層

標高で考えてみる。

上層部で判断した

- ★ まず、A地点は標高100mから、20m掘ったところに凝灰岩がある。ってことは、凝灰岩は標高80mの高さにある。(100-20)
- ★ B地点は、標高85mから5m掘ったところに凝灰岩がある。ってことは、凝灰岩は標高80mの高さにある。(85-5)
- ★ C地点は標高95mから、15m掘ったところに凝灰岩がある。ってことは、凝灰岩は標高80mの高さにある。(95-15)